



保育科 講師

室町 さやか (むろまち さやか)

Muromachi Sayaka

自己紹介 (プロフィール)	在学中にヴェネツィアに留学し、東京および千葉での非常勤講師、岡山の大学での勤務を経て 2016 年 4 月に本学に着任しました。18 世紀ヴェネツィアの福祉施設における女性の音楽活動についての研究を継続する一方で、現代日本の音楽教育についてわらべうたを中心に研究・実践をしています。
学生へのメッセージ	音楽は子どもにとって良いものであることは言うまでもありませんが、保育や教育に携わる私たちは「なぜ音楽をするのか」「音楽活動をすることで子どもにどんな成長を遂げて欲しいのか」という視点を持つことが大切だと思います。一緒に成長していきましょう。
保有学位	修士 (学術)
保有資格・免許	中学・高等学校教諭専修免許状 (音楽)
研究分野	音楽学 音楽教育学
主な担当科目	音楽 I、保育内容音楽表現、音楽科教育法、音楽科概論、西洋音楽の世界
学内での活動	学外実習委員会
学外での活動	国際コダーイ協会会員
所属学会	日本音楽学会、地中海学会、日本音楽教育学会、音楽学習学会、教育史学会、日本学校音楽教育実践学会

主な職務実績（抜粋）

事項 (単独・共同)	年月日	概要
(その他)「il Concerto di beneficenza per il Giappone」(共同)	平成 23 年 5 月 2 日	ヴェネツィアの聖モイーズ教会にて、東日本大震災のためのチャリティーコンサートを企画、実施した。出演者としても参加し、イタリア人作曲家の宗教曲および日本の童謡・唱歌を歌唱した。
(講座)「おかあさんのためのボイストレーニング」(単独)	平成 26 年 10 月 17 日	岡山県の私立大学における地域子育て支援事業の一環として、未就学児童を持つ親を対象とした講座にて講師を務めた。
(講座)「子育て講座 子どもの力を伸ばす音楽遊び」(単独)	平成 27 年 9 月 11 日	岡山市福祉交流プラザさいでんにて実施された子育て講座の講師を務めた。
(講座) 保育技術講座「保育領域指導者のためのワークショップ」(単独)	平成 27 年 9 月 26 日	岡山県で保育技術検定を実施している高等学校の家庭科教員を対象とした「保育領域」に関するワークショップにて講師を務めた。
(地域支援) 備前県民局「子育てカレッジ」アウトリーチ事業の実施(共同)	平成 27 年 8 月～ 平成 28 年 3 月	岡山県と県内の大学連携事業である「子育てカレッジ」のアウトリーチ事業に参加し、保育士養成課程の学生とともに県内の自治体の子育て関連施設に赴いて音楽遊びの実施を中心に子育て支援を行った。

主な教育研究業績（抜粋）

著書、学術論文等 (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等	概要
「幼児教育におけるわらべうたの意義と指導法～コダーイ・メソッドに鑑みて～」(単著)	平成 25 年 3 月	千葉経済大学 短期大学部研 究紀要第 9 号, 45-54.	現在の日本で音楽教育の分野においても数多くの教材やメソッドが提示される一方、統的に受け継がれてきたわらべうたや音楽遊びに注目が集まっている。本論文でコダーイ・メソッドについて論じ、その音楽的なねらいにもとづいて日本のわらべうたの指導方法を考察した。
「わらべうたのリズムと五音音階を用いた音楽づくりの試みー小学校音楽科における教材開発研究」(単著)	平成 28 年 3 月	環太平洋大学 研究紀要, 第 10 号, 21-28.	本研究は小学校音楽科の「音楽づくり」の活動において、わらべうたのリズムと五音音階を用いた教材開発を目的としている。実践の結果、リズムの理解、生活経験の再構成、音楽の親しみに関して一定の効果がみられ、遊びの経験から音楽づくりを行う本実践の手法は、音楽教育において有益であることがわかった。
(査読付き・単著)「18 世紀イタリアにおけるソルフェッジョ教育-トージとマンチーニの著作から」	平成 28 年 3 月	音楽学習研究 第 11 号, 99-106.	現在広く行われているソルフェージュの起源はイタリアの声楽教材ソルフェッジョにある。本研究では 18 世紀の重要な声楽教本であるトージとマンチーニの著作におけるソルフェッジョに関する内容について考察し、18 世紀の音楽教育について論じている。
(研究助成)「保育士養成課程の学生によるわらべうた講座における子育て支援と学生の学び」(単独)	平成 28 年 4 月	中・四国保育士 養成協議会	中・四国保育士養成協議会教員研究費助成を受け、学生が地域の子育て支援の場において主体的に「わらべうた講座」を企画・実施し、子育て支援活動を通じてどのような学びを得るかを明らかにした。
(研究助成)「家庭・地域社会教育研究助成」	平成 28 年 6 月	公益財団法人 前川財団	研究テーマ「家庭における幼児の音楽活動とわらべうた教育に関する研究ー地域での子育て支援講座の実施を通じて」に対して助成を受けた。

<p>(査読付き・単著) 「18世紀オスペダーレ・デッラ・ピエタにおける女子音楽教育—コーロ規則集の分析から」</p>	<p>平成 29 年 3 月</p>	<p>音楽学習研究, 第 12 号, 37-46.</p>	<p>本研究では 18 世紀ヴェネツィアの福祉施設オスペダーレ・デッラ・ピエタの音楽教育に着目し、18 世紀に印刷されたピエタのコーロの規則集を分析し、一定の教授法の存在、教師陣の連携、ソルフェッジョ教育の重視、音楽活動のための環境整備などについて明らかにした。</p>
---	------------------------	-----------------------------------	---

YGJC201705161820